

第51回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール募集要領



第50回 図画部門 岩手県知事賞
「たうえはどろどろ」
岩手県立一関清明支援学校小学部 5年 渡辺 陽向さん

主 催 岩手県内各 J A ・ J A 岩手県中央会

後 援 岩手県・岩手県教育委員会
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会
一般社団法人家の光協会東日本普及文化局
株式会社日本農業新聞東北支所・ J A 岩手県信連
J A 岩手県厚生連・ J A 全農いわて・ J A 共済連岩手

第50回 作文部門 岩手県知事賞

「私の大好きなお米」

西和賀町立湯田小学校 6年 加藤 未紗姫さん

「今年もなんとか元気に育っているなあ」

夏休みの宿題をしていると、おじいちゃんとお父さんのほっとしたような声が聞こえてきました。今年は私が住んでいる西和賀町も、例年に比べて暑くなるのが早く、お米農家にとって心配な夏になりました。だから、暑さに負けずに、お米の苗が元気に育っていることに、二人はほっとしていたのです。

お米は、私にとって、とても大切な存在です。でも、お米を大切なものだと実感したのは最近です。きっかけは、「お米が高くて買えない」というニュースです。お米がなかったり、五キロ四千円から五千円近くしていたりと、とてもおどろきました。

私の家には田んぼがあつて、お米を育てています。私も小さいときから、田植えや稲刈りを見たり、手伝ったりしてきました。家に田んぼがあるのがふつうで、みんなの家にもあると思っていました。だからお米を買う習慣はなく、売っているお米や値段を見ることがありませんでした。お米の値段のニュースを見てからは、気になってよく見るようになりしました。

でも、わたしは思います。「高い」のではなく、「それだけの価値がある」のだと。一粒のお米ができるまでに、どれだけの努力があるかを知っているからです。田を耕し、水を張り、苗を植えて、水の管理をして、稲を刈ります。最近は、気候の変化で、お米を育てにくくなっています。また、肥料

も人件費も高いです。お米を育てるのは、時間もお金も手間もかかる大仕事です。だから、お米の値段を高くしないと、農家の人達もお米を作っていけなくなってしまふのです。お米は、日本の伝統的な食文化であり、食卓に欠かせない主食です。それを守ることは、私達の未来を守ることだと思います。

今年の田植えも手伝いました。おじいちゃんやお父さんが機械で苗を植えます。機械で植えられないすみっこは私達の出番です。おばあちゃんに教えてもらいながら、久しぶりに帰ってきたお兄ちゃんと一緒に手で植えました。もちろん疲れるけれど、楽しさのほうが大きいです。

学校でも全校で田植えと稲刈りをします。先生も子どもはだして田んぼに入つて、楽しみながらお米作りをします。収かしたお米は、みんなでおにぎりを作って食べたり、給食センターや老人ホームにプレゼントしたりします。田植えや稲刈りを通して、地域の人とふれあい、さらにみんながお米作りに興味をもってくれたらうれしいなと思います。

「おいしいね」
その一言がうれしいです。

お米は、人を笑顔にする力があります。ごはんがあると、元気になります。そんなお米が大好きです。私は、大人になつても、家の田んぼがあればいいなと思うし、少しでも農業にたずさわる仕事をしたいと思っています。

目 次

岩手県コンクール募集要領	1
<参考>全国コンクール募集要領	3
作文部門審査基準	5
図画部門審査基準	6
個人作品貼付用応募票（切り取り）	7
応募者一覧表（切り取り）	9

第51回「ごはん・お米とわたし」作文・図画 岩手県コンクール募集要領

【趣旨】

このコンクールは、J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施いたします。

【課題】（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

【主催】

岩手県内 J A J A 岩手県中央会

【後援】

岩手県 岩手県教育委員会
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会 一般社団法人家の光協会東日本普及文化局
株式会社日本農業新聞東北支所 J A 岩手県信連
J A 岩手県厚生連 J A 全農いわて
J A 共済連岩手

【応募資格】

岩手県内の小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

岩手県内の特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】（枚数・大きさ）

●作文部門

1部：小学校1年生～3年生

（400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内）

2部：小学校4年生～6年生（400字詰め原稿用紙3枚以内）

3部：中学校1年生～3年生（400字詰め原稿用紙4枚以内）

（注）作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください）。

（注）本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

●図画部門

1部：小学校1年生～3年生

2部：小学校4年生～6年生

3部：中学校1年生～3年生

B3判（364×515ミリ）、もしくは四つ切り（380×540ミリ）の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。（注）地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。盗作や不適切な引用があった場合、審査対象外とします。
- (3) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。
- (4) 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表（9ページ）を必ず添付してください。記載例は（10ページ）です。校内で選定した際は、全応募総数を記入してください。

- (6) 作品には、1点ごとに必要事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。
 作文は最後のページの裏面、図画は裏面中央に貼り付けてください。(貼り付け見本参照)
- (7) 作品は、県コンクールの審査・表彰式終了後の令和9年2月下旬頃、JAを通じて返却します。ただし、JAでその後に作品を展示する場合がありますので、個人への返却が遅れる場合があることをご了解ください。
- (8) 作品の出版、放送に関する権利は、JA岩手県中央会に帰属します。入賞発表や表彰式、主催者の広報媒体(作品集、次年度の募集要領、ホームページ、テレビ、新聞等)への露出や作品展示などの広報活動、諸事業活動で使用いたします。上位入賞者につきましては顔写真を提供していただきます。ご了解の上、ご応募ください。
- (9) 応募に際して提供された個人情報、承諾なく第三者に提供しません。

【締切日】

※応募とりまとめJAを経由してご応募ください。
※県事務局の〆切は下記のとおりですが、とりまとめJAの〆切は文書をご確認ください。
※県事務局への応募は、令和8年9月4日(金)必着

【審査委員】

総合委員 小岩和彦氏(元岩手大学教職大学院特命教授)
 専門委員 佐々木俊江氏(元中学校指導教諭)
 専門委員 八重樫陽子氏(盛岡市教育委員会学校教育課指導主事)

他、岩手県農林水産部、一般社団法人家の光協会東日本普及文化局、株式会社日本農業新聞東北支所、JA岩手県中央会、JA岩手県信連、JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手

【審査会】第1次審査会…全国コンクールへ推薦する作品を選定

第2次審査会…本県コンクールの各賞入賞作品を選定

【賞】(予定)

- | | |
|---|---|
| ・岩手県知事賞
作文・図画部門各1名 計2名
賞状と副賞 | ・岩手県教育委員会教育長賞
作文・図画部門各1名 計2名
賞状と副賞 |
| ・(一社)家の光協会東日本普及文化局長賞
作文・図画部門各1名 計2名
賞状と副賞 | ・(株)日本農業新聞東北支所長賞
作文・図画部門各1名 計2名
賞状と副賞 |
| ・JA岩手県五連会長賞
作文・図画部門各1名 計2名
賞状と副賞 | ・優秀賞
作文・図画部門 若干名
賞状と副賞 |
| ・学校奨励賞
作文・図画部門各1校 計2校
賞状と副賞 | ・佳作
作文・図画部門 若干名
賞状と記念品 |

※応募者全員に参加賞を贈呈する(9ページの一覧表に氏名を記載した応募者のみ)

【入賞発表】

全国コンクール : 令和8年12月上旬

岩手県コンクール : 令和8年12月中旬

(応募取りまとめJAを経由して、入賞校、入賞者宛に通知します)

【作品展示】

上位入賞作品については、盛岡市内の商業施設等で展示を予定。

期間: 令和9年1月中旬～2月上旬に1～2週間程度。

●送り先および問い合わせ先

最寄りのJAを経由して
 〒020-0022 盛岡市大通1-2-1 産業会館内 JA岩手県中央会営農農政部
 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール係まで
 TEL: 019-626-8523 FAX: 019-623-6117
 E-mail: nosei-ko@jaiwate.or.jp

<参考>第51回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関する思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。
特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生
(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
- 2部 小学校4年生～6年生
(400字詰め原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生
(400字詰め原稿用紙4枚以内)

●図画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判(364×515ミ)、もしくは四つ切り(380×540ミ)の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。
(注)地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- (1) 作品には、原本1点ごとに記入した応募票(21ページ)をつけてください。作文は最後のページの裏面、図画も裏面中央にはりつけてください。また、コピー(6部)の右上には作品のラベルシール(14ページ参照)を貼付してください。
- (2) 作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください(学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。
- (3) 作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。
ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。
- (4) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- (5) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。

他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。盗作や不適切な引用があった場合、審査対象外とします。

- (6) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。
- (7) 合作は応募できません。
- (8) 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。
※審査基準の詳細は10,11ページ参照
- (9) 学校で応募の際は、別添の推薦名簿(19ページ)を必ず添付してください。
- (10) 作品は令和8年2月中旬に返却予定です。
- (11) 作品を応募することによって、応募作品をJAグループ(後援協賛団体を含む)の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。
- (12) 記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、JAグループ(後援協賛団体を含む)の広報媒体(入賞作品集やホームページ等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
- (13) 作品を応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。
- (14) 入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

【締切日】

令和8年9月中旬(各都道府県によって異なります)
※全国審査応募は、10月29日午前中全国事務局作品係必着

【審査員】

審査会委員長 尾木 直樹 氏
(教育評論家、法政大学名誉教授、臨
床教育研究所「虹」所長)

作文部門 野口 武悟 氏
(専修大学教授、(公社)全国学校図書
館協議会理事長)

竹村 和子 氏
((公社)全国学校図書館協議会参与)
堀米 薫 氏
(児童文学作家、(一社)日本児童文芸
家協会評議員)
真鍋 和子 氏
(児童文学作家、(一社)日本児童文学
者協会評議員)
位川 一郎 氏
(農政ジャーナリスト、元毎日新聞経済
部編集委員)

図画部門 岡田 円治 氏
(元株式会社NHKアート代表取締役社長、
日本美術家連盟準会員)

西巻 茅子 氏
(絵本作家)
東良 雅人 氏
(元文部科学省初等中等教育局視学官、
京都市教育委員会総合教育センター指導室長)
郡司 明子 氏
(群馬大学教授)

【賞】

- (1) 内閣総理大臣賞
作文・図画部門各1名——— 計 2名
賞状と副賞(記念盾及びお米券、記念メダル)
- (2) 文部科学大臣賞
各部門各部ごとに1名——— 計 6名
賞状と副賞(お米券及び記念メダル)
- (3) 農林水産大臣賞
各部門各部ごとに1名——— 計 6名
賞状と副賞(お米券及び記念メダル)
- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞
各部門各部ごとに1名——— 計 6名
賞状と副賞(お米券及び記念メダル)
- (5) 優秀賞
各部門各部ごとに15名——— 計 90名
賞状と副賞(記念メダル)
- (6) 学校奨励賞
内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
各賞受賞者所属校——— 計 14校
賞状

【入賞発表】

審査会終了後、入賞校、入賞者へ主催者より通知しま
す。新聞などメディアへの発表は、令和8年12月上旬
を予定しています。

【主催・後援・協賛】

- 主催
農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会
／全国農業協同組合中央会
- 後援
文部科学省／農林水産省／こども家庭庁／全国都道
府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合
会／日本放送協会(NHK)／全国連合小学校長会
／全日本中学校長会／(公社)全国学校図書館協議会
／(公社)日本PTA全国協議会／(公社)米穀安定供
給確保支援機構
- 協賛
全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合
連合会／農林中央金庫／(一社)家の光協会／(株)
日本農業新聞／全国厚生農業協同組合連合会／(一
社)全国農協観光協会

【送り先および問い合わせ先】

最寄りの農業協同組合「作文・図画コンクール」係
もしくは
都道府県農業協同組合中央会「作文・図画コンクール」
県事務局へ
(各都道府県によって異なります)

本コンクールの審査基準は以下の通りです。応募の際にはご注意ください。

作文部門審査基準

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること（子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない）。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること（抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない）。
5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
6. 規定の枚数であること。
7. 誤字、脱字がなく、その他の表記（かぎかっこや句読点など）も正確であること（誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、清書させてください）。
8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す）。
9. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの
（例.トラクターの乗車定員オーバー（2人乗り）についての記載など）

図画部門審査基準

<主題のとらえ方について>

1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

<基準について>

(次のようなものは審査の対象外になります)

1. ごはん及びお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）、および実在しないもの（空想やファンタジー性のあるもの）。
6. 石、木片などを貼りつけたもの。
7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。
11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。

また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

12. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの

(例.トラクターの乗車定員オーバー(2人乗り)、乗車装置でない荷台に乗った姿が描かれたもの など)

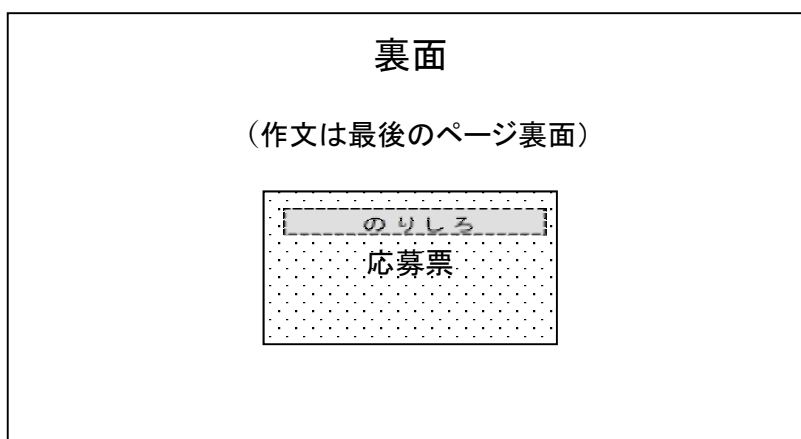
個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード	作品番号	部門
			作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			
氏名			
フリガナ			学年
学校名	学校	年	組
学校所在地			
電話番号			
JA名			

(注)

1. 必要事項を記入の上、作文は最後のページ中央、図画は作品裏面中央に下図”のりしろ”部分のみ貼付（のり付け）してください。
(太い枠で囲まれた部分は必ずご記入ください)
2. コピーして作品に貼付してください。
3. 都道府県コード、作品番号は記入不要です。(県段階で記入します)

【貼付見本】



応 募 者 一 覧 表

学 校 名 : _____ 小・中学校

電話番号 : _____ ご担当者名 : _____

扱いJA名 (JA)

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

※上記の児童・生徒を応募するにあたり、校内で選定した場合は、全応募総数を記入してください。

全応募総数 _____ 点

応募者一覧表（記載例）

学校名： ○○市立 ○○○ 小・中学校

電話番号： _____ ご担当者名： _____

扱いJA名 { JA }

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1	図画 1部	2年	岩手太郎	イワテ タロウ
2	作文 2部	4年	盛岡花子	モリオカ ハナコ

このコンクールは、岩手県コンクールと全国コンクールの2段階制とします。

岩手県コンクールに応募いただいた作品の中から、優秀な作品を全国コンクールに推薦します。(岩手県コンクールを経由しない作品は全国コンクールに応募できません。)

